



2007 年度第 3 回理事会（文書審議理事会）議事録

1. 開催期間：2007 年 8 月 21 日（火）～
9 月 5 日（水）
2. 審議参加者：藤井理行，成田秀明，力石國男，
山田知充（タイに滞在のため E-mail により審議参加），佐藤篤
司，東 信彦，足立俊三，井形
和彦，上田保司，遠藤八十一，
加治屋安彦，川田邦夫，水津重
雄，角川咲江，竹内 望，西村
浩一，沼澤喜一，本堂武夫，山
崎 剛，横山宏太郎
3. 議 案：
第 1 号議案 2007 年度学会賞受賞者の承認
学会賞受賞者審査委員会からの推薦理由書に基
づき，審議参加者 20 名，不参加者 0，賛成 20，反
対 0 で，以下の受賞候補者が，2007 年度学会賞受

- 賞者として承認された。
- 学術賞：鈴木啓助
平田賞：島田 互
論文賞：着雪を生じる降水の気候学的特徴
（松下拓樹・西尾文彦）
論文賞：ASTER データによって得られたヒマ
ラヤのデブリ氷河上の熱特性空間分布
（藤田耕史・上田 豊）
- 第 2 号議案 平成 19 年度中谷宇吉郎科学奨励賞
推薦候補者の承認
- 中谷宇吉郎科学奨励賞受賞者審査委員会からの
推薦理由書に基づき審議参加者 20 名，不参加者
0，賛成 20，反対 0 で，以下の推薦候補者が，平成
19 年度中谷宇吉郎科学奨励賞受賞候補者として
承認された。
- 紺屋恵子

2007 年度第 4 回理事会議事録

1. 開催日時：2007 年 9 月 26 日（水）
11 時 30 分～13 時 00 分
2. 開催場所：富山大学五福キャンパス 教養教
育棟第 2 教棟 2 階 218 室
3. 出席者：藤井理行，成田秀明，山田知充，
佐藤篤司，東 信彦，足立俊三，
井形和彦，上田保司，遠藤八十一，
加治屋安彦，川田邦夫，水津重雄，
角川咲江，竹内 望，西村浩一，
沼澤喜一，山崎 剛，横山宏太郎
（委任状出席者）：力石國男，本堂武夫
（監事オブザーバー）：成瀬廉二
4. 議 事
1) 定款第 27 条に基づき理事会の成立を確認
し，議事録署名人として竹内理事と西村理事
を指名した後，藤井会長が議長となり議事が
進行された。

- 2) 2007 年度上半期収支報告及び下半期収支
計画について
竹内理事（財務委員長）より，資料 1 に基
づき，2007 年度本部上半期収支報告及び下半
期収支計画の説明があり原案通り承認され
た。現時点で見込まれる年度末収支決算額か
らは，財政状況の改善があるようにも見られ
るが，実質的には厳しい財政状況に変わり
はなく，引き続き安定した収入の確保のため
に会員各位にご協力をお願いしたい旨説明が
あった。
- 3) 2008 年度支部交付金について
竹内理事（財務委員長）より，資料 2 に基
づき，2008 年度支部交付金の説明があり原
案通り承認された。
またこれに関連して支部交付額算出の根拠
となる会員数の増減についての報告があり，

会員のさらなる増強, および未収金がいまだに学会予算の約 1 割あることを踏まえ, 理事や各支部にて回収の努力をお願いしたい旨の説明があった。

また, 何故早期に次年度交付金額を決定する必要があるのかとの質問を受け, 2 月に予算を作成する際に「支部・分科会活動支援基金」へ(から)の資金繰入れ(繰出し)額と「次年度支部交付金額」を併せて検討する日程の都合上, 今回の理事会において支部交付額を確定しておく必要があるとの説明がなされた。「支部・分科会活動支援基金」へ(から)の資金繰入れ(繰出し)を行うことにより, 決算時における学会の「内部留保率」が, 文部科学省より示されている適正値に近づいており, 引き続きご協力をお願いしたい旨説明があった。

4) 2008 年度全国大会, 公開シンポジウムについて

成田副会長より, 資料 3 に基づき, 2008 年度全国大会を東京大学で開催予定であること, 公開シンポジウム「雪氷楽会 in 東京(仮称)」を計画していることが説明され承認された。また, 次年度も引き続き日本雪工学会と連携しながら 9 月 23 日~27 日に全国大会を開催し, 23 日に公開シンポジウムを予定していることが説明された。

日本雪工学会との連携について活発な意見交換が行われた。3 回目となる合同研究発表会が, 更に組織的に準備され, 参加する両学会会員の便宜が図られた運営が実現できるよう方策を探っていくこと, また雪氷学会としては事業委員会が対応することが確認された。

5) 評議員の交代について

西村理事(総務委員長)より, 評議員の高橋広文氏が退会し, 後任に大浦久到氏が推薦されている旨の説明があり大浦久到氏に就任をお願いすることが承認された。

6) 第 3 回理事会(文書審議理事会)の議事録の承認と論文賞受賞者の認定について

西村理事(総務委員長)より, 資料 4 に基づき, 2007 年度第 3 回理事会(文書審議理事

会)の審議結果について説明があった。その上で, 2007 年度論文賞の対象となった論文の筆頭著者に関しては, 論文受理の時点で会員であったことを鑑み, 改めて受賞者として承認したい旨の提案があり, 藤井会長, 佐藤学術委員長, 東理事による補足説明の後, 承認された。

また, 2006 年度より新設された論文賞の運営について, 学術委員会において詳細の確認・検討を加えていくことが提案され, 了承された。

7) 気象水文分科会の運営内規案について

山崎理事(気象水文分科会幹事)より, 資料 5 に基づき, 気象水文分科会の運営内規案について説明があり, 9 月 27 日の気象水文分科会総会において変更がないかぎり原案通り承認することが了承された。

5. 報 告

1) IWAIS2007 について

横山理事(事業委員長)より, 2007 年 10 月 9 日~10 月 12 日に, 「電気の史料館」(川崎市)において「構造物への大気着氷雪に関する国際ワークショップ(IWAIS2007)」が開催される予定である旨報告がされた。

2) 平成 19 年度雪崩災害防止功労者表彰への推薦について

西村理事(総務委員長)より, 国土交通省河川局より, 例年, 日本雪氷学会に対して推薦依頼のある「雪崩災害防止功労者表彰」の候補者として, 西村会員を推薦していることが報告された。

3) 広報委員会からの報告

角川理事(広報委員長)より, 9 月 26 日 10 時より 2007 年度第 1 回広報委員会が開催され, 会員の勧誘, 広告収入の獲得などの従来どおりの広報活動に加え, Web 上での広報活動も積極的に展開していきたいなど活発な意見交換がされ, 引き続き委員会内で話し合っていく予定であることが報告された。

4) 公益法人制度改革について

公益法人制度改革の現況と予想される今後のタイムスケジュール, 雪氷学会としての対応について西村総務委員長より報告があった。

添付資料

資料 1-1 2007 年度本部上半期収支報告および下
半期収支計画

1-2 2007 年度資金繰表（本部）

資料 2 次年度支部交付金計算書（案）

資料 3 第 4 回雪氷学会全国大会準備委員会議事録
平成 20 年度科学研究費補助金（研究成

果公開促進費）「研究成果公开发表（B）」
計画調書（素案）

資料 4 2007 年度第 3 回理事会（文書審議理事
会）議事録（案）

資料 5 社団法人日本雪氷学会気象水文分科会運
営内規